

# 2024年3月期第2四半期 決算説明会

株式会社クロスキャット

2023年11月22日



# 2024年3月期第2四半期決算説明会

## 【第1部】

取締役常務執行役員 山下 智己

1.2024年3月期第2四半期 決算の概要

## 【第2部】

代表取締役社長 山根 光則

2-1.さらなる事業拡大に向けて取り組む「両利きの経営」について

2-2.さらなる事業拡大に向けた5つの戦略と進捗

2-3.業務・開発ノウハウ、データ分析ノウハウの活用による課題解決支援

2-4.先端IT技術の蓄積による提案力強化

2-5.パートナー連携によるソリューション領域拡大

2-6.お客様課題、社会課題解決に向けたAIビジネスへの取り組みについて

2-7.両利きの経営を活かした今後の事業展開

2-8. 中期経営計画最終年度における業績進捗の推移

# 1. 2024年3月期第2四半期 決算の概要

---



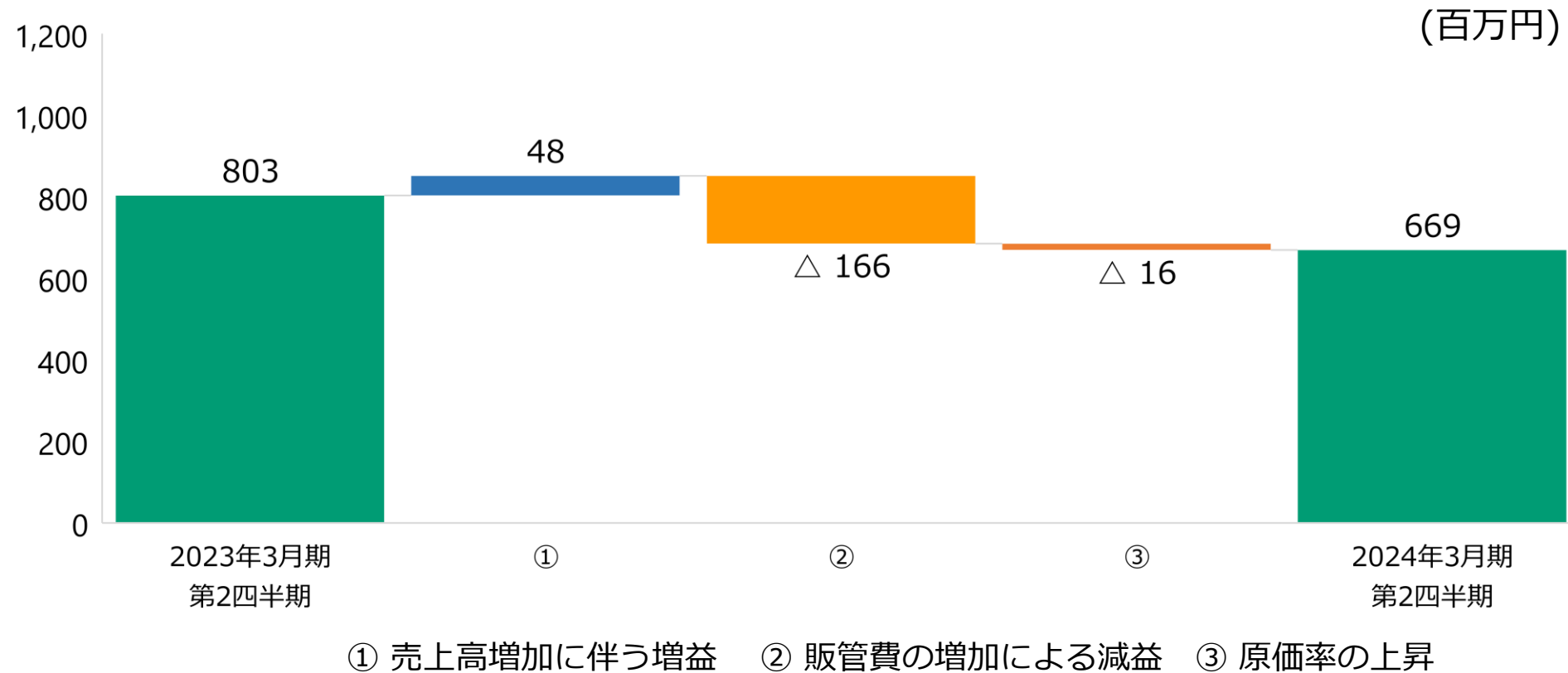
## 1-1. 2024年3月期第2四半期 決算の概要(連結)

- ▶ **売上高**はクレジット向けを中心に好調に推移したことにより**期初予想を上回る**結果となった
- ▶ 前年同期比で増収となり**2期連続で上期における過去最高の売上高を達成**
- ▶ **利益**では人材育成・確保の一環として賃上げや採用増を積極的に実施したため人件費等が増加  
前年同期比で減益となったものの、費用の抑制効果等もあり**期初予想を上回る**結果となった  
(百万円、%)

	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期					
	実績		期初予想		実績			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前期比	予想比
売上高	6,960	100.0	7,100	100.0	7,160	100.0	2.9	0.8
売上総利益	1,691	24.3	1,710	24.1	1,723	24.1	1.9	0.8
販管費	887	12.7	1,110	15.6	1,053	14.7	18.7	△5.1
営業利益	803	11.5	600	8.5	669	9.4	△16.7	11.5
経常利益	827	11.9	620	8.7	709	9.9	△14.3	14.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	526	7.6	400	5.6	473	6.6	△10.0	18.3

## 1-2. 営業利益の増減要因分析（対前年同期比）

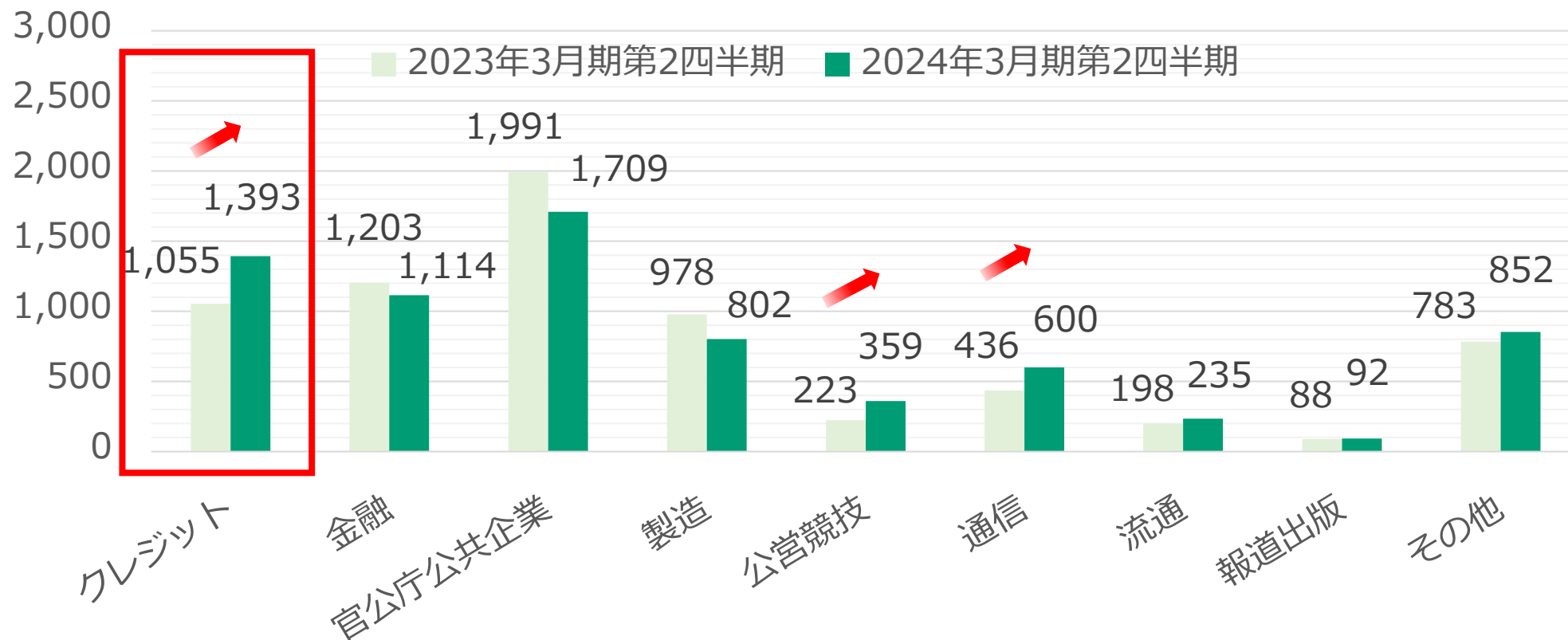
- ▶ 売上増加に伴う増益に対し、人材育成・確保の一環として賃上げや採用増を積極的に実施したことによる販管費の増加が上回り、前年同期比で減益



### 1-3. 業種別売上高

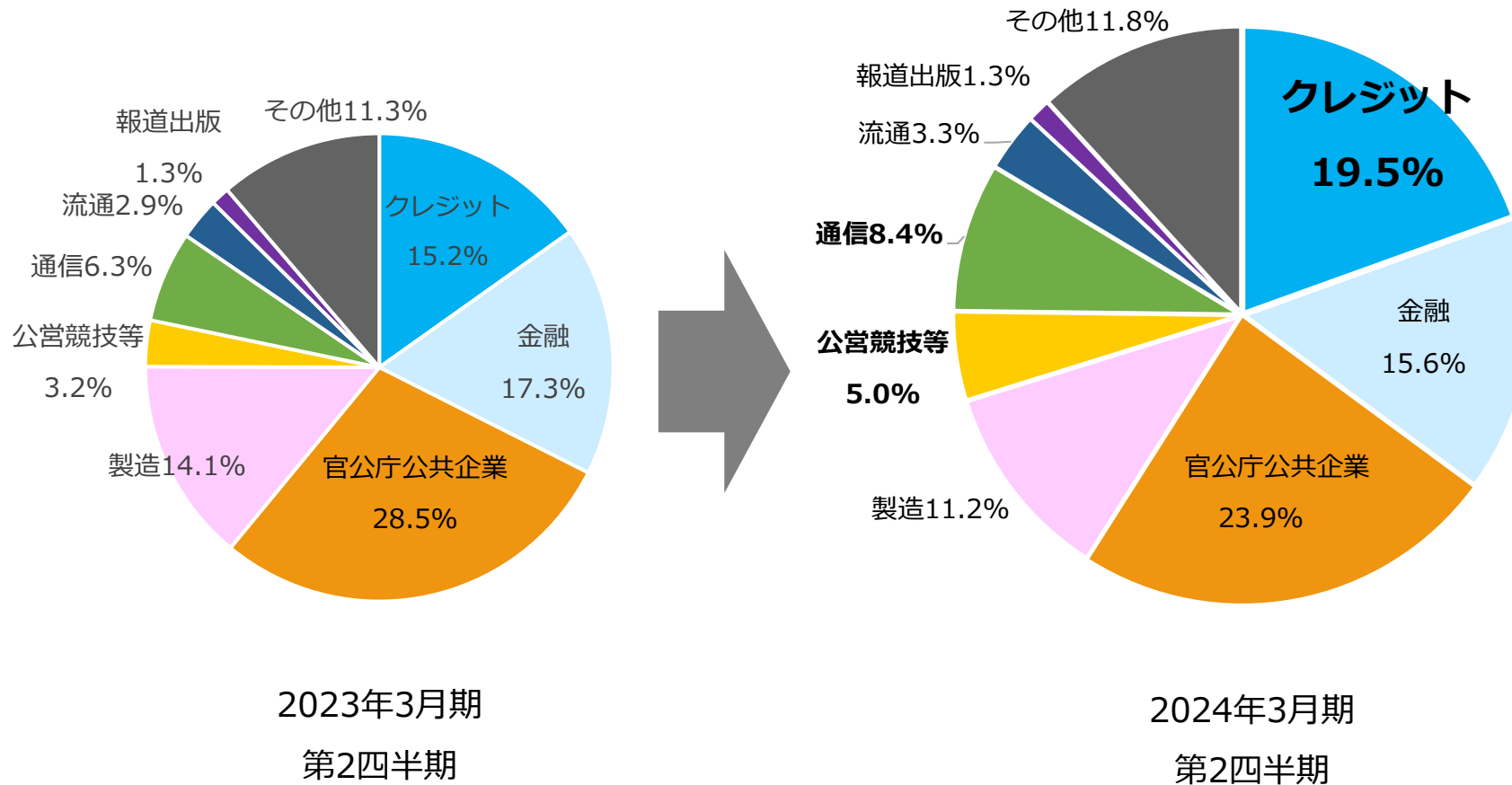
- ▶ **新規大手顧客の獲得**等により**クレジット**向けが伸長、また公営競技、通信向けが好調に推移
- ▶ 前年同期に開発が集中していた反動により官公庁向けは減少

(百万円)



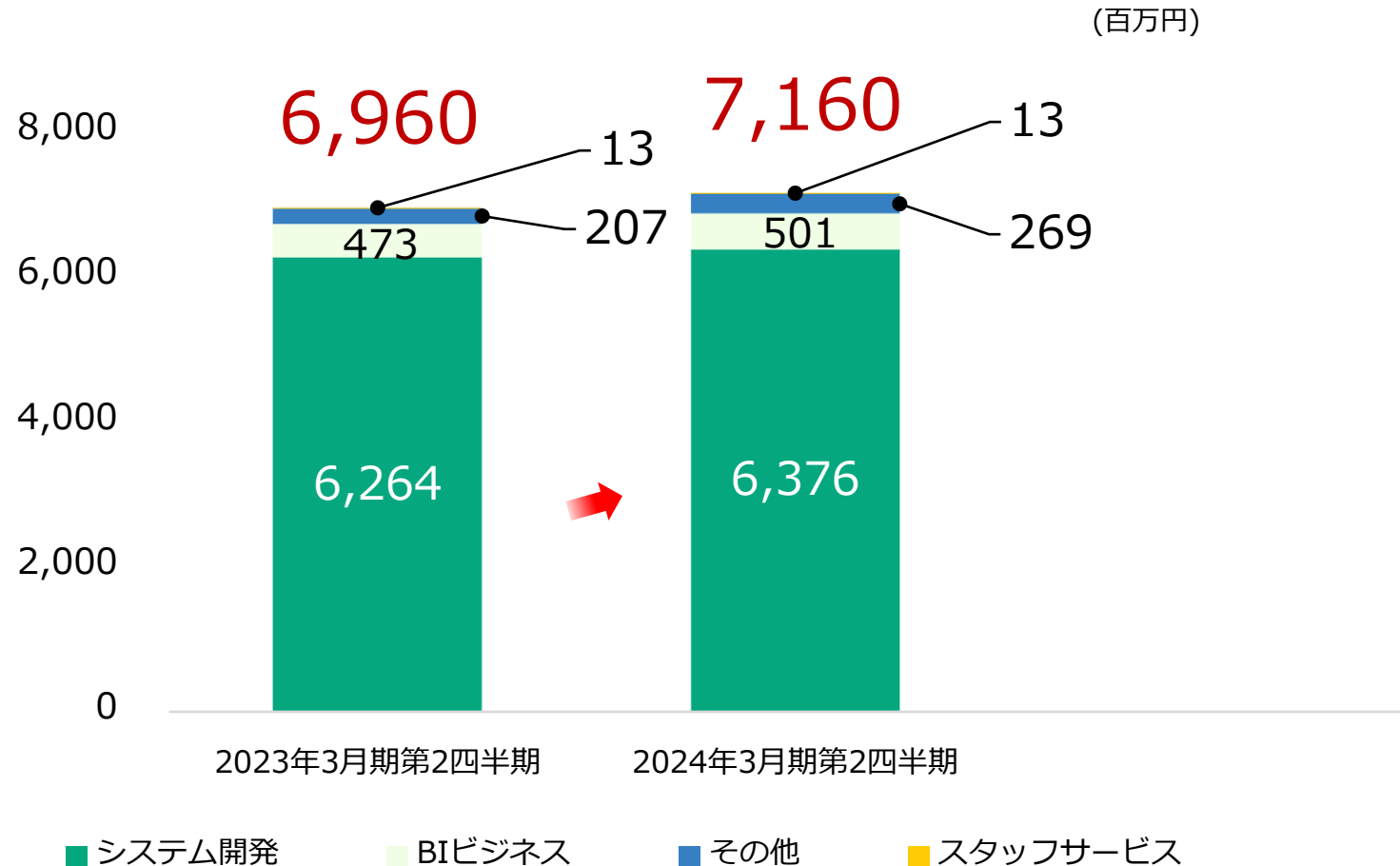
## 1-4. 業種別売上高 構成比

▶クレジットが新規大手顧客の獲得などもあり拡大、その他公営競技、通信向けも伸長



## 1-5. 事業別売上高

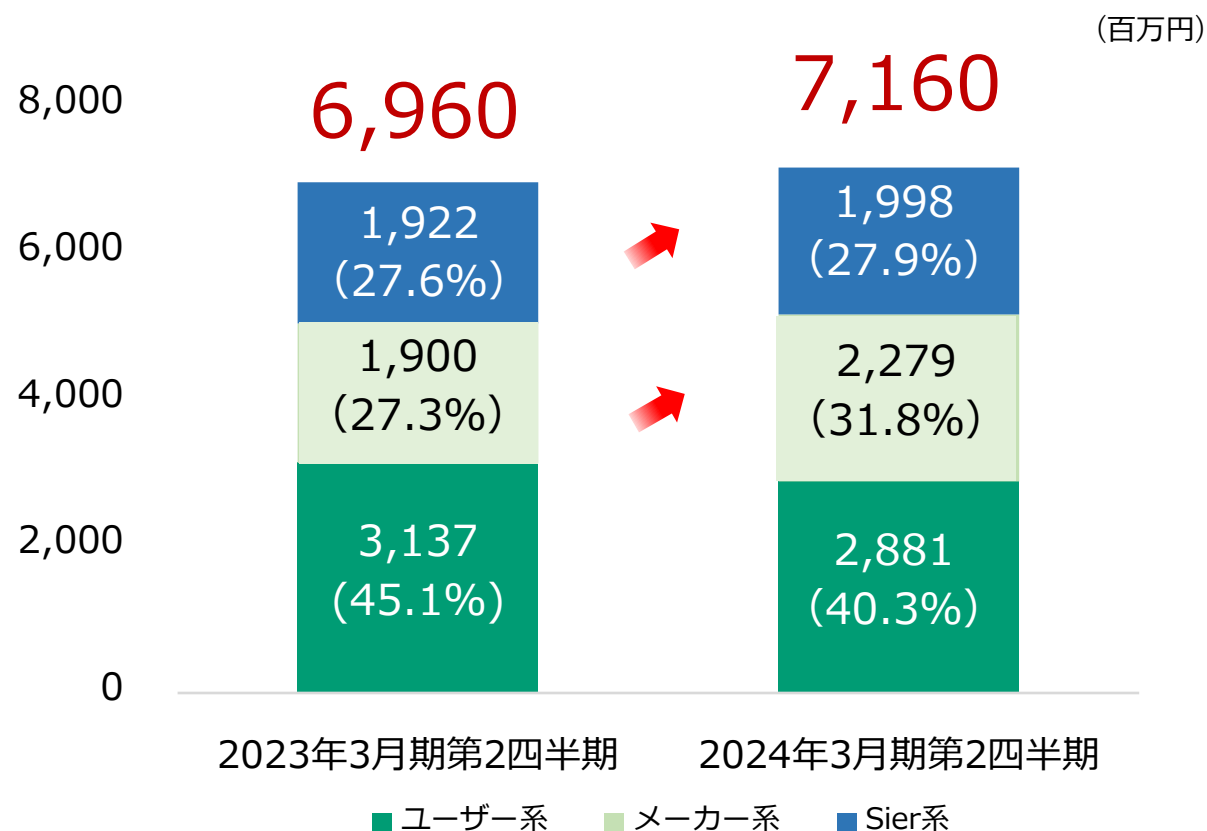
- ▶ 「コア事業」を支えるシステム開発が**新規顧客の獲得**等もあり堅調に推移
- ▶ BIビジネスも着実に伸長、その他事業では**自社開発サービスにおけるID数の増加**に伴い伸長





## 1-6. 契約先別売上高

- ▶ メーカー系、Sier系が堅調に推移
- ▶ ユーザー系は官公庁向けが前年同期に開発が集中していた反動により売上高は減少したが、クレジット・官公庁向けの主要分野において新規顧客の獲得など直接受注の案件が拡大



## 1-7. 2024年3月期 業績予想（連結）

▶クレジット・金融・官公庁向けを中心とした事業の拡大により、売上高は約6%の伸長を見込む

（百万円、%）

	2023年3月期		2024年3月期（予想）		
	金額	売上比	金額	売上比	増減比
売上高	13,835	100.0	14,700	100.0	6.2
売上総利益	3,202	23.1	3,572	24.3	11.6
販管費	1,741	12.6	2,022	13.8	16.1
営業利益	1,461	10.6	1,550	10.5	6.1
経常利益	1,510	10.9	1,600	10.9	6.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,019	7.4	1,070	7.3	4.9

## 2. 主要な取組み状況

---



## 2-1.さらなる事業拡大に向けて取り組む「両利きの経営」について

### 事業拡大に向けた5つの戦略

## 両利きの経営

### 【ナレッジベース】

社内蓄積した知識・ノウハウ・技術etc

SI・DX

2

業務・開発ノウハウ、データ分析ノウハウ  
の活用による課題解決支援

3

先端IT技術の蓄積による提案力強化

5

データ活用による提案力の強化

4

パートナー連携による  
ソリューション領域拡大

お客様

パートナー企業

1

お客様との共創による  
サステナビリティ推進



## 2-2.さらなる事業拡大に向けた5つの戦略と進捗

1 お客様との共創によるサステナビリティ推進

1

2 業務・開発ノウハウ、データ分析ノウハウの活用による課題解決支援

・ 両利きの経営におけるSI事業、DX事業の推進拡大

2

3 先端IT技術の蓄積による提案力強化

・ 社会課題を解決する価値の最大化に向けて、新たな技術情報の知識蓄積と人材保有の取り組み

3

4 パートナー連携によるソリューション領域拡大

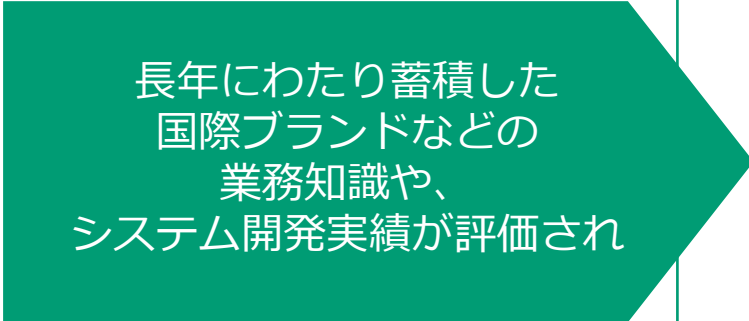
・ パートナー企業との連携深化により、お客様が選択できるDXソリューションを拡張

5 データ活用による提案力の強化

## 2-3-1.業務・開発ノウハウ、データ分析ノウハウの活用による課題解決支援（SI）

1

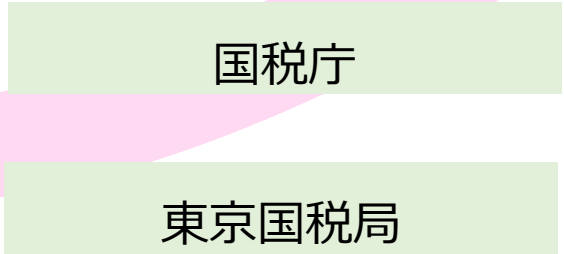
▶ 両利きの経営におけるSI事業の推進拡大



・大手クレジット会社の顧客情報管理業務の新規支援



● 行政デジタル化に向けたシステム開発支援も拡大



## 2-3-2.業務・開発ノウハウ、データ分析ノウハウの活用による課題解決支援（DX）

1

▶ 両利きの経営におけるDX事業の推進拡大

「データ分析基盤構築力」や  
「PoC実施による柔軟な提案力」  
などが評価され

・カレーハウスCoCo壱番屋を運営する株式会社壱番屋の  
DX推進プロジェクト支援



DX事業

● Oracle Cloud Infrastructureで  
データ活用基盤構築を支援するお客様が年々拡大



社会医療法人財団  
白十字会



SPACE VALUE  
HOLDINGS



SUN FRONTIER  
サンフロンティア不動産株式会社

● 自社開発サービス クラウド勤怠管理システム  
「CC-BizMate」導入企業数・ID数の着実な増加



【上期】

導入企業数：35件UP  
ID数：12,000件UP



## 2-4.先端IT技術の蓄積による提案力強化

2

▶ 社会課題を解決する価値の最大化に向けて、新たな技術情報の知識蓄積と人材保有の取り組み

「AWS セレクトティア  
サービスパートナー」認定

クラウド



Amazon Web Services

2022年

47名



2023年

67名

Microsoft Azure

7名



16名

Oracle Cloud Infrastructure (OCI)

3名



4名

統計

統計検定2級、統計検定3級

8名



10名

データ分析



Tableau

Tableau Desktop Specialist

4名



19名

Oracle Financials Cloud

0名



3名





## 2-5.パートナー連携によるソリューション領域拡大



- ▶ パートナー企業と連携したセミナーイベントの実施や参加など、クラウドやAIなどの先端技術を活用したソリューション展開に向けた取り組みを活発化



### Oracle Cloud VMware Solution (OCVS) 構築支援サービスなど、提供ソリューションの拡大へ

- パートナー企業とのウェビナーやユーザー会の積極展開による新規顧客の開拓、既存顧客の深耕



「Oracle Cloud ウェビナー」当社社員登壇



「Oracle Cloud Infrastructure」ユーザー会開催



### 「CC-Dash AI」や音声変換AIなど、提供ソリューションの拡大へ

- ウェビナーの共催や専門家との対談などを通じて、AI技術に関する幅広い知見やノウハウを蓄積



国内最大級のAIポータルメディアによる「AI開発ウェビナー」当社社員登壇



AI専門家と当社データサイエンティストによる対談動画公開

## 2-6.お客様課題、社会課題解決に向けたAIビジネスへの取り組みについて

- ▶ 先端IT人材の採用、先端技術の獲得、パートナー企業連携などを通じて、お客様のビジネス課題や社会課題の解決につながる新たなソリューション開発

AIによって  
メンタルヘルスケアを実現  
**音声感情  
解析オプション**  
200円~/人  
単独のご利用も  
可能!

音声感情解析 AI 「Empath」※を活用したメンタルヘルスケアソリューション提供開始

※株式会社Empathが開発し、株式会社シーエーシーが保有している技術



お客様のAI利活用を支援!  
**CC-Dash AI**  
コンサルティングサービス  
PoCサービス

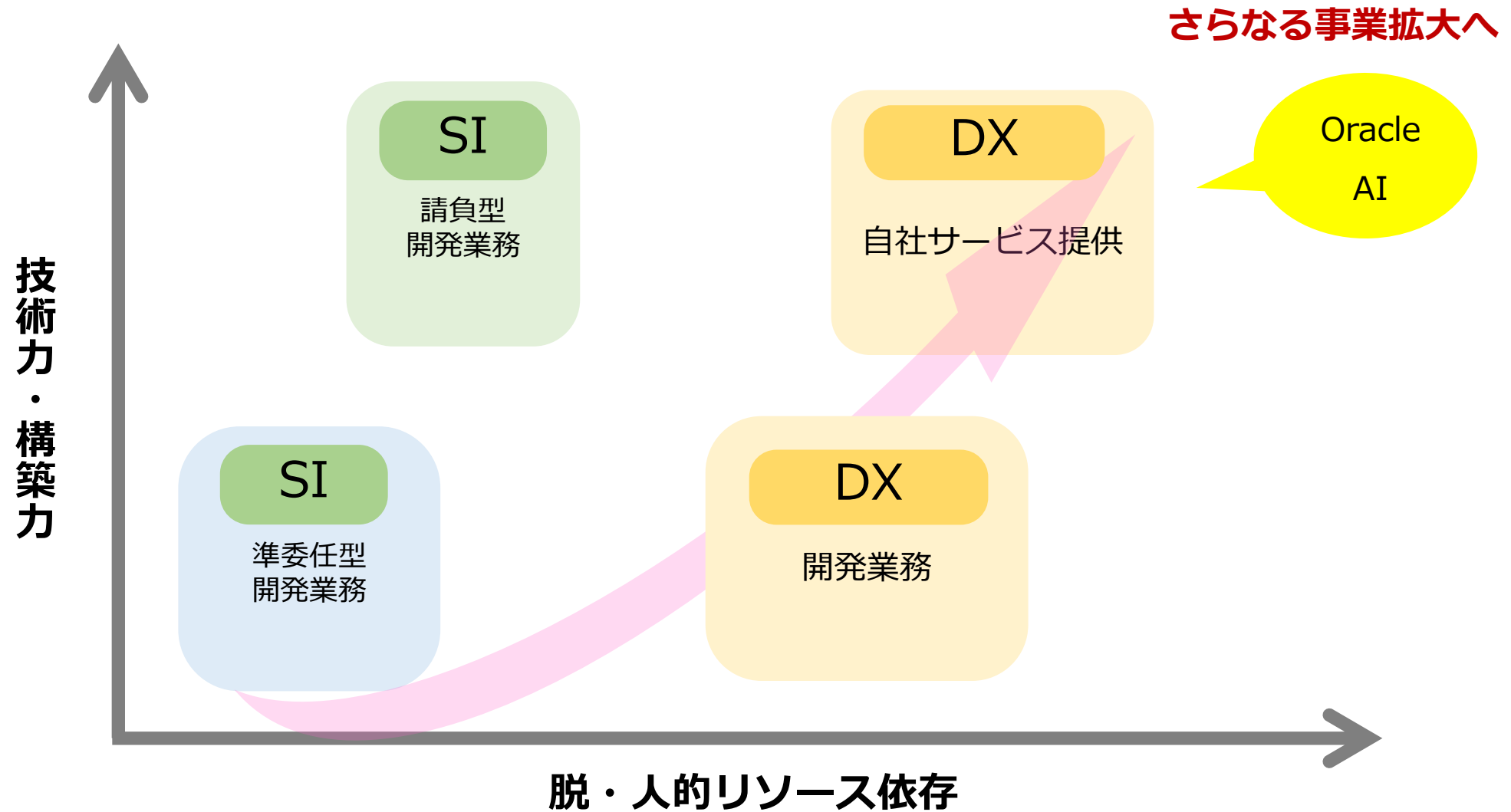
AI利活用支援サービス「CC-Dash AI」  
サービス提供開始



「AI音声コンテンツ提供サービス」開発に着手

(特許出願中)

## 2-7.両利きの経営を活かした今後の事業展開





---

\* 本資料についてのご注意

本資料は、当社の業績および今後の業績見通し、経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に掲載されている将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき当社が判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。